

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@maff.go.jp



四国山の日

No.1159 2016年10月号

平成28年度 四国林政連絡協議会を開催

第42回 四国林政連絡協議会が開催県である愛媛県松山市にて開催されました。

【詳細は2頁】



四国林政連絡協議会を開催

〈企画調整課〉



九月六日、愛媛県松山市

森林総合研究所四国支所、

において、第四二回四国林

同森林整備センター中国四

政連絡協議会を開催され、

国整備局参加のもと、林野

四国各県の林務担当部局、

庁から担当官の出席を得て

四国地区における民有林行

政と、国有林行政連携強化

等について話し合いが行わ

れました。

開会にあたり協議会長で

ある四国森林管理局長か

ら「林業の成長産業化とそ

れを通じての地方創生は、

我々、林業・林産業に携わ

る者の使命であり、国有林

としては、国有林材の安定

供給、フォレストー等の人

材育成、技術開発普及等の

取組を通じた、民有林林政

推進の支援が重要な課題で

ある。」と挨拶がありました。

次に開催県である愛媛県

の重松農林水産部森林局長

と林野庁計画課城企画班担

当課長補佐から挨拶があり

ました。

続いて、「四国山の日賞」

選定の審査内容、林野庁か

ら森林・林業・木材産業を

巡る最近の動きについての

説明が行われました。その

後、各県が取り組んでいる

「原木の安定供給の取組」

や「担い手の確保・育成に

関する取組」等の紹介、ま

り、これらの説明等に関し

た、森林総合研究所等各機

関からエリートツリーの開

発やシカ生息地における再

造林手法の開発といった各

種研究事例や国有林との連

携の状況について説明があ

りました。

就業体験実習とは、四国

として行われています。

森林管理局の行政実務に接

しながら、学習意欲を喚起

し、高い職業意識を育成す

るとともに、国有林野事業

及び林野行政に対する理解

を深めてもらうことを目的

として行われています。

今年、一〇日間の日程を

四国森林管理局就業体験 実習生(インターシップ)の受入

〈総務課〉



協議会長(四国森林管理局長)挨拶



組み、八月一日から八月三日まで実習生を受け入れました。

四国局の概要、千本山保護林での施業学習、白髪山天然ヒノキ林木遺産保護林現地実習、収穫調査業務の現地実習、地すべり防止工事箇所の見学及び治山事業現場での測量実習、小学校で森林教室の手伝い及び、樹木学習現地実習、低コストに向けた森林整備の現地実習及び、林業専用道事業箇所での現地実習などを実施しました。

実習生からは、「四国は四つの構造線があり、降水量が多く、台風災害などで

山腹崩壊や地すべりが起こりやすく、何箇所か復旧計画を行っていることや、高知県がCLTプロジェクトを発信し木材利用を積極的

に推進していることを知り驚きました。」などの感想がありました。

今回の就業体験を通じて森林管理の仕事を実際に経験してもらうよい機会となりました。



千本山山頂にて記念撮影

『親子ふれあい木工教室』開催 フクロウのエンピツ立て作製と 積み木教室

〈技術普及課〉



八月二五日、公募による一組、二六名参加の「夏休み親子ふれあい木工教室」を、当局の大会議室において実施しました。

この木工教室は、夏休みの研究・学習の支援と身近な自然環境への関心や理解を深めることを目的に、オイスカ高知県推進協議会との共催で、毎年夏休み終盤に小学生と保護者を対象に開催しています。

まず、今年「山の日」

木工製作中



が制定されたことから、木や山に興味を持ち、親子でもらいたいという思いで、パワーポイントを使って、山で出会える木や生き物の写真を見てもらい、針葉樹や広葉樹の特徴や、葉の形の違い、森林の働きについて説明しました。

続いて、森林整備等で発生した広葉樹の枝や竹などの端材を使って、『フクロウのエンピツ立て』を製作しました。

比較的時間でできる作品とあって、子どもたちは丁寧に色を塗り、フクロウやエンピツ立ての竹に模様を描いたり、親子で相談しながらゆつくりと作品を作り上げました。

その後は、オイスカスタッフと海外研修生達による積み木教室を楽しみました。